# 稲作情報（Vol.3）

令和７年６月16日
石巻地方米づくり推進本部
宮城県石巻農業改良普及センター
TEL:0225-95-7612　FAX:0225-95-2999
https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-sgsin-n/

## ６月上旬の気象経過

6月上旬前半は最高気温が平年より3.4℃上回りましたが、最低気温は平年を4.7℃下回り、寒暖差が大きくなりました。日照時間も平年比112%と多照でした。

6月上旬後半は最高気温、最低気温ともに上昇し、平均気温で平年を1.0℃上回り、日照時間も平年を16%上回りました。降水量は少なくなりました。

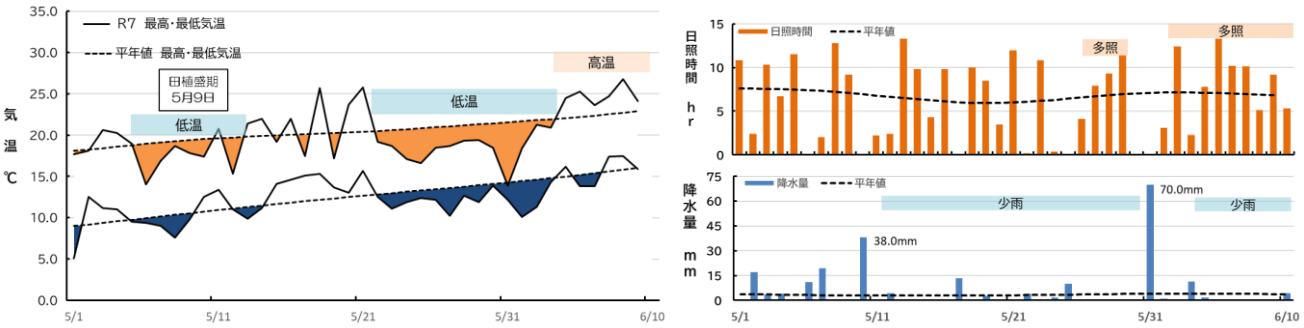



図１　気象経過（アメダス石巻）

## 水稲の生育状況

### 草丈は平年並、茎数が少なめ、葉数少なめ

**移植栽培**

◎ 草丈は、23.7～34.2ｃｍで平年比88%～128%となっています。ほ場によりばらつきはありますが、平年よりやや短め～平年並です。

◎ 茎数は、100～243本/㎡で、平年比49～219%とほ場により差がありますが、平年より少なめとなっています。

◎ 葉数は、5.7～6.6枚で、ほとんどのほ場で平年より0.5～0.8枚下回っています。

◎ 葉色は、25.8～41.2で、平年より0.2～1.5ポイント上回るほ場が多いです。

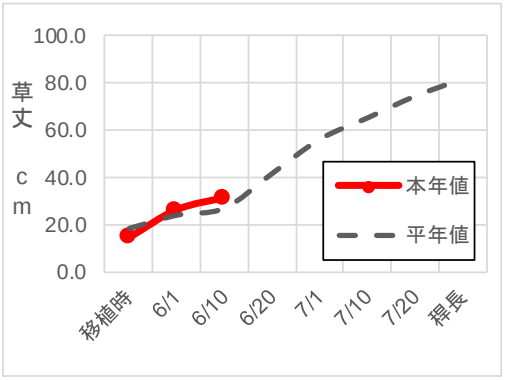
表１　生育調査ほ等の調査結果（６月10日現在）

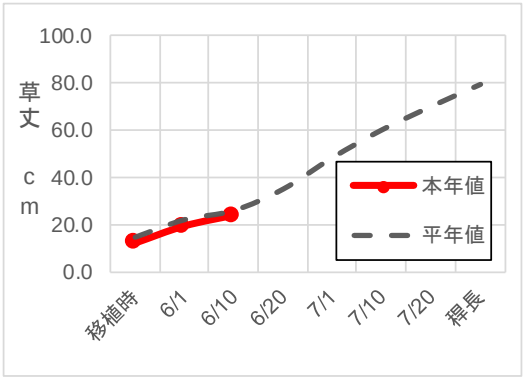
| 品種名 | 地区名 | 6月10日 | | | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 草丈(cm)（平年比） | 茎数(本／㎡)（平年比） | 葉数(枚)（平年差） | 葉色(SPAD)（平年差） | |
| ひとめぼれ | 石巻市広渕 | 28.1（104%） | 203（79%） | 6.5（-0.8） | 41.2（+0.4） | 平年比・差は参考値 |
| ひとめぼれ | 東松島市矢本 | 34.2（128%） | 210（81%） | 6.6（-0.5） | 39.3（+0.2） | |
| ササニシキ | 石巻市桃生 | 24.4（88%） | 100（49%） | 5.7（-0.6） | 25.8（-8.6） | |
| ササニシキ | 石巻市稲井 | 23.7（97%） | 243（124%） | 6.5（+0.2） | 36.4（+1.3） | |
| つきあかり | 石巻市広渕 | 33.0（96%） | 196（219%） | 6.4（-0.8） | 39.5（+1.5） | （）は前年比・差 |
| 乾直ササニシキ | 石巻市河南 | 22.3（87%） | 229（84%） | 5.6（-0.1） | 35.8（-0.6） | |
| 乾直ひとめぼれ | 石巻市桃生 | 24.6（103%） | 121（102%） | 4.6（-1.6） | 35.2（+0.6） | （）は前年比・差 |

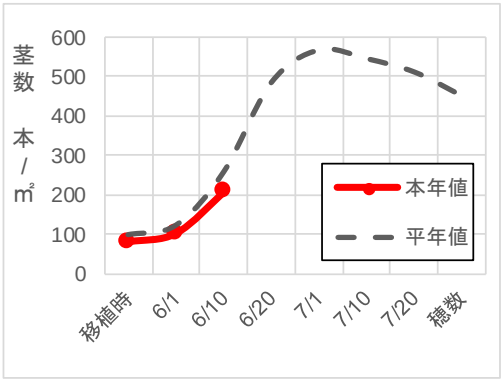
注）平年比・差は前５か年の平均値との比較。

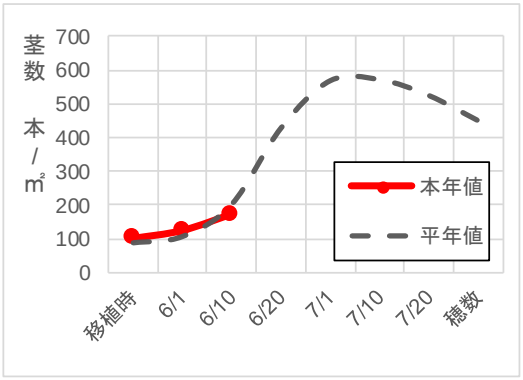
**乾田直播栽培**

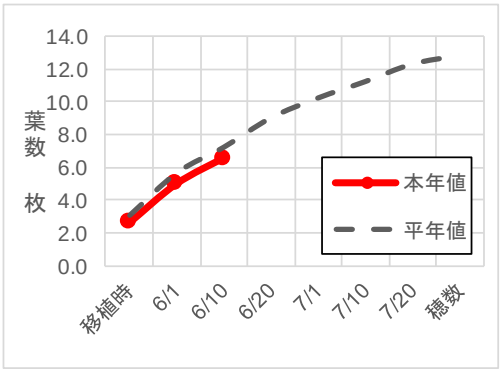
◎ 乾田直播栽培は、ササニシキほ場で草丈・茎数・葉齢・葉色ともに平年をやや下回っていますが、十分な生育量を確保できています。ひとめぼれほ場は、6月2日調査と比較して、分げつの発生がまだ少ないものの、茎数・草丈は前年を上回っており、順調に生育しています。

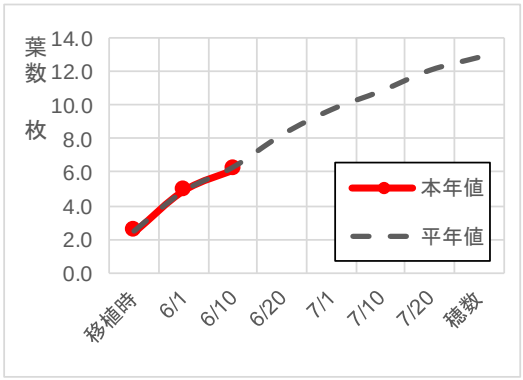


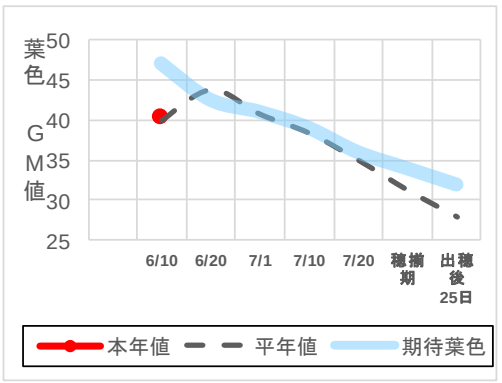



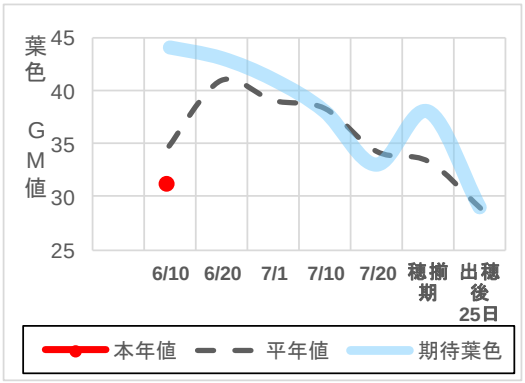




図２　ひとめぼれ（2ほ場平均）の生育経過　　図３　ササニシキ（2ほ場平均）の生育経過

図4　稲井ササニシキほ場

図5　乾田直播ササニシキほ場

## 今後の管理

～適切な水管理で生育を促進させましょう～

～目標有効茎数の確保を確認して中干しを行いましょう～

### 1　水管理

◎　中干しまでは間断かん水が基本ですが、移植が遅い場合や直播栽培など生育量が不足しているほ場では3cm程度の浅水とし、分げつの発生を促しましょう。令和7年は茎数が少ない傾向ですので、励行しましょう。

◎　目標有効茎数を確保したら早めに中干しを実施しましょう（目標有効茎数は表2を参考にしてください）。中干しは7～10日間程度で、土の表面に軽くひび割れが入り、歩くと軽く足跡が残る程度が目安です。なお、実施に当たっては、各土地改良区の揚水停止期間を確認し、計画的に水管理を行いましょう。

◎　復元田などで倒伏が心配される場合には、分げつ期における深水管理が有効です。分げつ期に深水とすることで茎数の増加を抑制することができます。ただし、深水管理によって表層はく離が発生しやすくなるので注意しましょう。なお、表層はく離対策としては、浅水管理や日中落水管理が有効です。

◎　有機物を多用している水田などで、土壌からガスの発生が見られる場合には、中耕や一時的に落水するなどして土壌中に酸素を供給し、根への障害を防ぎましょう。

◎　近年は異常高温により根が傷んだと推察される生育障害が散見されました。

高温時は常時湛水を避け、間断かん水を実施しましょう。

### 【今後の水管理のポイント】

□ 復元田など過繁茂となりやすく、倒伏が心配されるほ場では，

→ 一般ほ場より中干し開始の時期を早める。

□ 大区画ほ場や排水不良田では、

→ 溝切りを行い、排水を促す。

□ 直播栽培など揚水停止まで必要茎数を確保できないほ場では，

→ 揚水停止直前に湛水し、必要茎数を確保してから中干しする。

（湛水直播は強めに中干し、乾田直播は基本的には中干し不要）

表2　品種別の目標有効茎数

| 品種 | 目標有効茎数（穂数） | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 移植栽培 | | | 乾田直播栽培 | | |
| | ㎡当たり（本／㎡） | 1株当たり（本／株） | | ㎡当たり（本／㎡） | 条1m当たり（本／m） | |
| ササニシキ | 480～510 | 50株/坪植え | 32～34 | 510 | 条間30cm | 153 |
| | | 60株/坪植え | 26～28 | | 条間24～26cm | 122～133 |
| ひとめぼれ | 410～460 | 50株/坪植え | 27～30 | 460 | 条間30cm | 138 |
| | | 60株/坪植え | 23～25 | | 条間24～26cm | 110～120 |

## ２　雑草対策

◎　ヒエの残草が確認される直播栽培ほ場が散見されます。残草がある場合には、中・後期剤を利用してください。

◎　除草剤の選定の際には、雑草の種類や草丈、葉齢などを確認し、適切な剤を選定するとともに、使用の際は、容器のラベルに記載された使用時期、使用方法を守りましょう。

## ３　いもち病対策　　～ 移植では残苗処分、直播では予防防除を！～

◎　残苗が置かれているほ場が散見されますので、直ちに処分しましょう。

◎　直播栽培では、移植栽培で使用されている箱処理剤が使えないため、いもち病に感染するリスクが高くなっています。種子籾処理での予防防除を行っていない場合は、必ず６月中～下旬に葉いもち予防粒剤による防除を行いましょう。

◎　葉いもちの発生時期は「平年並の7月第1半旬（7/1～7/5）」、発生量も「平年並」と予報されています。（宮城県病害虫防除所　発生予報第3号）

## ４　イネミズゾウムシ

◎　イネミズゾウムシの発生量は「平年並」と予報されています。（宮城県病害虫防除所　発生予報第3号）

## ５　斑点米カメムシ類対策

◎　宮城県では、水稲うるち玄米の産年別格付け理由割合の中で、斑点米カメムシ類等による着色粒が28.8%（R6）を占めています。

◎　畦畔や農道、雑草地、休耕田のイネ科やカヤツリグサ科の雑草は、今後斑点米カメムシ類の重要な繁殖源となるので、今から計画的な草刈りを行い、カメムシ類の発生を抑制しましょう。

◎　ほ場の中にイヌホタルイが残っている場合は、斑点米による落等の確率が高まるので（表5）、７月上旬までに追加の除草剤散布を行ってください。

表3イヌホタルイ発生量に基づく斑点米被害リスク

| 6月下旬の株数/㎡ | 2等以下に落等する確率 |
|---|---|
| 0～1 | 0～30% |
| 1～6 | 30%～40% |
| 6～16 | 40%～50% |
| 16～28 | 50%～60% |
| 28～42 | 60%～70% |
| 42～61 | 70%～80% |
| 61～90 | 80%～90% |
| 90～112 | 90%～94% |
| 112～ | 94～ |

## 東北地方1か月予報

（６月１４日から７月１３日までの天候見通し）

令和７年６月１２日仙台管区気象台　発表※抜粋

**＜特に注意を要する事項＞**

期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みです。

**＜予想される向こう１か月の天候・気温＞**

平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 平均気温は、高い確率80％です。

**＜向こう１か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（％）＞**

| | | 低い(少ない) | 平年並 | 高い（多い） |
|---|---|---|---|---|
| 【気　　温】 | 東北地方 | １０ | １０ | ８０ |
| 【降 水 量】 | 東北地方 | ３０ | ４０ | ３０ |
| 【日照時間】 | 東北地方 | ３０ | ４０ | ３０ |
| **＜気温経過の各階級の確率（％）＞** | | 低い | 平年並 | 高い |
| １　週　目 | 東北地方 | １０ | １０ | ８０ |
| ２　週　目 | 東北地方 | １０ | ２０ | ７０ |
| ３～４週目 | 東北地方 | １０ | ３０ | ６０ |

## 春の農作業安全確認運動実施中！

令和7年３月１日から令和7年６月３０日まで

**重点推進テーマ 徹底しよう！農業機械の転落・転倒対策**

## 宮城県農薬危害防止運動実施中！（６月１日から８月３１日）

宮城県では、6月から8月にかけて、農作物等の病害虫が発生しやすく、農薬を使用する機会が最も多くなる時期です。農薬安全対策の不備や不注意等による事故が発生しやすくなるため、農薬使用による危害防止と環境に配慮した適正な農薬の使用を徹底し、農薬の販売、使用方法、性質に関する正しい知識及び関係法令等の周知を図ることで、農薬による事故等の発生を防止し、本県産農産物の「食の安全・安心」を確保することを目的に運動を実施しています。

## 農作業中の熱中症を予防しましょう！！

夏に向けて、農作業中に熱中症になる人が増えてきます。

熱中症は正しい知識を身につけることで、適切に予防することが可能です！！